



2010 BUSINESS REPORT

第35期報告書

平成21年12月1日～平成22年11月30日

ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ



平成23年2月
代表取締役社長 張能 徳博

平素は当社グループの事業運営に対しまして格別のご支援・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第35期（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

製造事業においては、中国・インドネシア市場におけるペットボトル飲料の需要拡大に伴いプリフォームの販売本数は増加しております。為替の影響等により売上高は前期に比べ微減となりましたが、工場の稼働率・生産効率アップの取り組みが着実に収益に結びつきました。一方、当社創業以来のコアビジネスである卸売事業においては、国内設備投資の回復は鈍く主力の産業機械部門を中心に販売の不調が続きました。経営環境に明るい兆しが見られない中、不稼動在庫の処分や係争案件の解決を行い、また、既存商権の選択と集中に厳しく取り組むとともに、適切な人的資源の配分に向けて創業以来初めてとなる希望退職制度を実施するなど、将来再び成長軌道に乗せるための構造改革を実施いたしました。

この結果、売上高・営業利益ともに前期を下回りましたが、経常利益・当期純利益は製造事業の好調の影響により前期から改善しております。

第35期（平成22年11月期）の期末配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、前期より3円減配の3円配当とさせていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

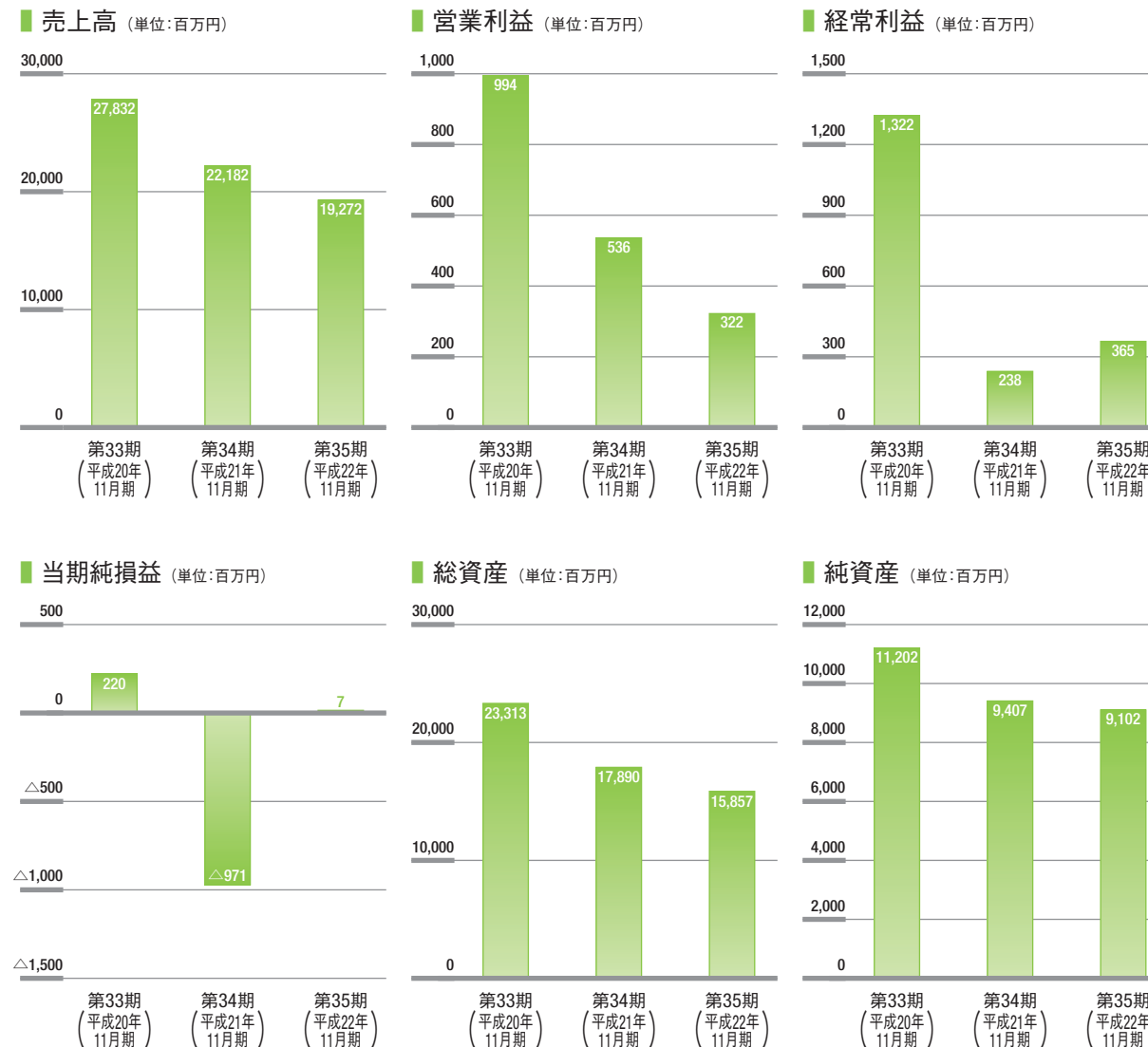
なお、第36期（平成23年11月期）、当社グループは業績不振からの脱却に向け、卸売事業の再建に引き続き取り組んでまいります。今後の当事業の業績を支えるような新たな商権を発掘していくと同時に、中国の上海とタイのバンコクに続く販売拠点を設け、成長著しいアジア市場における旺盛な需要を確実に獲得してまいります。

今後とも変わらぬ温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結業績ハイライト	2
連結営業の概況	3-4
連結財務諸表	5-6
個別財務諸表	7
トピックス	8
会社の概要	9
株式の状況	10

連結業績ハイライト



連結営業の概況

業績概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国経済の回復を背景に輸出や生産活動の持ち直しの動きと設備投資下げ止まりの様相が見られましたが、ヨーロッパの金融・財政不安に起因する為替の円高傾向が続き、デフレの進行や雇用情勢の悪化も依然として懸念されるなど、景気の先行きが不透明な中で推移いたしました。

このような市場環境のもと、当社グループの国内の主力事業である卸売事業においては、経営リソース再配分の推進による成長軌道への回帰に注力してまいりましたが、当社グループが扱う多くの商品分野にわたり景気低迷の影響を引き続き受け、国内の販売実績は前連結会計年度を大きく下回る結果となりました。一方、海外の主力事業である製造事業においては、中国をはじめとするアジア新興国において、夏場の天候の好影響もありペットボトル用プリフォームの需要が増え販売本数は増加しましたが、為替の影響等により販売実績は前年度にわずかに及びませんでした。

その結果、当連結会計年度の売上高につきましては、減収となり、19,272百万円（前期比13.1%減）となりました。

営業損益につきましては、卸売事業において、人件費の抑制、事務所の一部移転等によりコスト削減に努め、製造事業においては、徹底したコスト管理による生産効率の向上に取り組みました。しかしながら、卸売事業では訴訟にかかる弁護士費用や新型プリンターの研究開発費等が発生したことにより、322百万円の利益（前期は536百万円の利益）となりました。

経常損益につきましては、持分法による投資利益が大幅に増加したこと等から、365百万円の利益（前期は238百万円の利益）となりました。

当期純損益につきましては、特別退職金および投資有価証券評価損等の特別損失が発生したものの、役員退職慰労金制度の廃止による役員退職慰労引当金戻入額が発生したこと等により、わずかながら黒字に転じ7百万円の利益（前期は971百万円の損失）となりました。

セグメント別概況

卸売事業

産業機械・機器分野においては、国内向けの自動車部品成型機械、食品製造機械等の大型案件の売上があり、またタイ現地法人において、現地の日系顧客の新工場向け機器の販売が好調でありましたが、国内の製造業を中心とする主要顧客の設備投資需要は総じて減少し多くの主力機械・機器販売が苦戦したこと等から、前期実績を下回りました。

産業資材分野においては、国内向けペットボトル用プリフォームの販売が夏場の猛暑の影響で好調に推移し、前期実績を上回りました。

メディアパッケージ分野においては、DVDケース等の販売が振るわず、前期実績を下回りました。

その他の分野においては、輸送用リサイクルプラスチックパレットの販売が、日本の輸出産業の持ち直しに伴う受注の回復により、前期実績を上回りました。

この結果、売上高は15,791百万円（前年同期比13.8%減）となりました。営業損益につきましては、従業員の退職に伴う補充の中止や従業員賞与の削減等の人件費の抑制、事務所の一部移転等コスト削減に努めましたが、一方で訴訟にかかる弁護士費用および研究開発費等の発生により、513百万円の損失（前期は107百万円の損失）となりました。

製造事業

食品・飲料容器分野においては、蘇州現地法人および広州現地法人ならびにインドネシア現地法人におきまして、内需向けのペットボトル用プリフォームの生産および販売数量は好調に推移いたしました。取引先との契約形態を一部変更したことや為替の影響により、売上高は前期実績をわずかに下回りました。一方、蘇州現地法人および広州現地法人におきまして、徹底したコスト削減を実施したことにより、営業利益は前期実績を上回りました。

その他の分野においては、輸送用リサイクルプラスチックパレットの生産・販売が、前述のとおり卸売事業における受注の改善に伴い、売上高・営業利益ともに前期実績を上回りました。

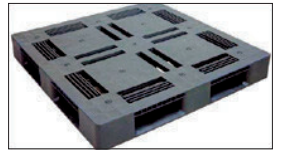
この結果、売上高は5,342百万円（前期比3.1%減）となり、営業損益につきましては908百万円の利益（前期は750百万円の利益）となりました。



(3Dプリンター)



(スパゲッティ自動製造ライン)



(リサイクルプラスチックパレット)



(PETプリフォーム)



(愛而泰可新材料(蘇州)有限公司)

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成22年11月30日現在)	前連結会計年度 (平成21年11月30日現在)	科目	当連結会計年度 (平成22年11月30日現在)	前連結会計年度 (平成21年11月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,885,539	9,693,878	流動負債	5,080,918	6,116,847
現金及び預金	2,328,920	2,925,297	支払手形及び買掛金	2,391,333	3,076,600
受取手形及び売掛金	3,665,061	4,692,200	短期借入金	1,171,132	1,085,247
商品及び製品	914,583	918,447	未払費用	459,250	437,424
原材料及び貯蔵品	211,795	130,492	未払法人税等	29,983	64,803
前渡金	388,102	599,862	前受金	514,299	797,168
繰延税金資産	31,457	23,372	繰延税金負債	2,566	3,351
その他	364,493	431,283	その他	512,352	652,251
貸倒引当金	△18,873	△27,079	固定負債	1,674,345	2,366,216
固定資産	7,971,907	8,196,768	長期借入金	1,412,900	2,137,631
有形固定資産	5,695,741	5,878,774	役員退職慰労引当金	—	132,762
建物及び構築物	1,595,857	1,725,977	その他	261,445	95,822
機械装置及び運搬具	2,618,422	3,161,420	負債合計	6,755,264	8,483,063
土地	80,479	80,479	純資産の部		
リース資産	162,190	129,208	株主資本	9,390,904	9,498,206
建設仮勘定	678,781	37,100	資本金	5,527,829	5,527,829
その他	560,010	744,588	資本剰余金	2,783,821	2,783,821
無形固定資産	159,672	183,150	利益剰余金	1,301,941	1,409,141
投資その他の資産	2,116,493	2,134,842	自己株式	△222,688	△222,586
投資有価証券	309,588	295,866	評価・換算差額等	△476,788	△237,473
関係会社出資金	1,092,433	967,545	その他有価証券評価差額金	△16,313	△76,699
長期貸付金	35,000	35,000	繰延ヘッジ損益	△15,314	△2,884
敷金及び保証金	267,798	378,908	為替換算調整勘定	△445,160	△157,889
繰延税金資産	20,866	11,291	少数株主持分	188,066	146,849
その他	921,063	993,816	純資産合計	9,102,182	9,407,582
貸倒引当金	△530,257	△547,584	負債及び純資産合計	15,857,447	17,890,646
資産合計	15,857,447	17,890,646			

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)	前連結会計年度 (平成20年12月1日から 平成21年11月30日まで)
売上高	19,272,796	22,182,303
売上原価	15,723,326	18,244,133
売上総利益	3,549,469	3,938,169
販売費及び一般管理費	3,227,220	3,401,685
営業利益	322,249	536,484
営業外収益	280,263	149,144
営業外費用	236,877	447,206
経常利益	365,635	238,422
特別利益	215,181	19,328
特別損失	479,767	913,232
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	101,048	△655,481
法人税、住民税及び事業税	62,855	52,429
法人税等調整額	△25,749	257,328
少数株主利益	56,588	6,185
当期純利益又は当期純損失(△)	7,354	△971,425

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)	前連結会計年度 (平成20年12月1日から 平成21年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	693,003	943,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△437,898	△959,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△825,712	△816,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,769	△105,804
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△596,377	△938,055
現金及び現金同等物の期首残高	2,925,297	3,863,353
現金及び現金同等物の期末残高	2,328,920	2,925,297

連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(平成21年12月1日から平成22年11月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成21年11月30日残高	5,527,829	2,783,821	1,409,141	△222,586	9,498,206	△76,699	△2,884	△157,889	△237,473	146,849	9,407,582
連結会計年度中の変動額	—	—	△114,554	—	△114,554	—	—	—	—	—	△114,554
剰余金の配当	—	—	7,354	—	7,354	—	—	—	—	—	7,354
当期純利益	—	—	7,354	—	7,354	—	—	—	—	—	7,354
自己株式の取得	—	—	—	△101	△101	—	—	—	—	—	△101
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	60,386	△12,430	△287,270	△239,315	41,217	△198,097
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△107,200	△101	△107,301	60,386	△12,430	△287,270	△239,315	41,217	△305,399
平成22年11月30日残高	5,527,829	2,783,821	1,301,941	△222,688	9,390,904	△16,313	△15,314	△445,160	△476,788	188,066	9,102,182

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当事業年度 (平成22年11月30日現在)	前事業年度 (平成21年11月30日現在)
資産の部		
流動資産	5,821,554	8,051,035
固定資産	6,542,632	7,135,633
有形固定資産	229,542	251,385
無形固定資産	52,898	66,362
投資その他の資産	6,260,191	6,817,884
資産合計	12,364,187	15,186,668
負債の部		
流動負債	3,667,865	4,869,598
固定負債	998,762	1,596,916
負債合計	4,666,627	6,466,514
純資産の部		
株主資本	7,729,187	8,799,737
資本金	5,527,829	5,527,829
資本剰余金	2,783,821	2,783,821
利益剰余金	△359,775	710,672
自己株式	△222,688	△222,586
評価・換算差額等	△31,627	△79,583
その他有価証券評価差額金	△16,313	△76,699
繰延ヘッジ損益	△15,314	△2,884
純資産合計	7,697,559	8,720,154
負債及び純資産合計	12,364,187	15,186,668

損益計算書

(単位：千円)

科目	当事業年度 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)	前事業年度 (平成20年12月1日から 平成21年11月30日まで)
売上高	14,858,600	17,572,482
売上原価	12,821,014	15,053,891
売上総利益	2,037,586	2,518,590
販売費及び一般管理費	2,763,104	2,899,699
営業損失(△)	△725,517	△381,109
営業外収益	110,290	183,134
営業外費用	67,990	96,273
経常損失(△)	△683,217	△294,248
特別利益	191,230	22,827
特別損失	459,280	898,291
税引前当期純損失(△)	△951,266	△1,169,711
法人税、住民税及び事業税	6,895	△21,963
法人税等調整額	△2,268	232,009
当期純損失(△)	△955,893	△1,379,757

株主資本等変動計算書 当事業年度（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成21年11月30日残高	5,527,829	2,783,821	710,672	△222,586	8,799,737	△76,699	△2,884	△79,583	8,720,154
事業年度中の変動額									
剰余金の配当	—	—	△114,554	—	△114,554	—	—	—	△114,554
当期純損失	—	—	△955,893	—	△955,893	—	—	—	△955,893
自己株式の取得	—	—	—	△101	△101	—	—	—	△101
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	60,386	△12,430	47,955	47,955
事業年度中の変動額合計	—	—	△1,070,448	△101	△1,070,549	60,386	△12,430	47,955	△1,022,594
平成22年11月30日残高	5,527,829	2,783,821	△359,775	△222,688	7,729,187	△16,313	△15,314	△31,627	7,697,559

トピックス

炭素繊維複合材用成形機が自動車の軽量化を実現していきます

地球温暖化対策として“CO₂の削減”は今や至る所様々な形で取り組みが行われております。私達の暮らしの中で、CO₂を排出する一番身近なもの・・・それは自動車ではないでしょうか。

CO₂を削減する「エコカー」は、「燃料をガソリンから電気へ転換したもの」をまず想像されると思いますが、もう一つあります。「金属に代わる新しい素材を用いて車体を軽くした自動車」です。これによって燃料効率が引き上げられ、CO₂排出量を抑制できますし、電気自動車の普及をも促進することになります。自動車の軽量化は、今日本が世界の先陣を切って急ピッチで開発を進めている技術です。

この「軽い車体」を実現する新しい素材とは、「炭素繊維」。鉄と比べて強度が10倍で重さは4分の1、しかも燃えにくいという優れた性質を持っています。既に航空機の機体や橋脚補強用の建材、スポーツ用具等に使われています。自動車用としては、ボディやドアのような平坦な形状の部分については製造上の課題はクリアされておりますが、フレームやエンジン周りの複雑な形状の部品も作製可能にするため、大学と企業、国の研究機関がタッグを組んで加工技術の開発を進めており、その成果が少しずつ見られるようになってきております。

ここに、アルテック インダストリアルソリューション事業本部ポリマープロセス事業部が日本で独占的に販売するフランスPinette Emidecau Industries (PEI社)の成形機が大きな役割を果たしております。PEI社はエアバスやボーイングといった航空機メーカーから絶大な信頼を得ている複合材成形機(加工機)の老舗メーカーです。同社の炭素繊維複合樹脂(CFRP)加圧圧縮成形機には、それら航空機メーカーが過去に行った実験結果や成形ノウハウといった情報がフィードバックされ蓄積されているため、他の成形機を圧倒しております。また、熱可塑性樹脂をオープンにて加熱→搬送シャトルでプレス機へ高速移動→プレスという一連の成形工程が完全プログラミング化され、様々な部品の製作を効率的に行うことを可能にしたものであることから、開発にも量産にも欠かせない設備となっております。

研究が実用化され「軽」自動車生産が可能となるのは2013年頃とされております。私達の身近にある自動車が大きな進化を遂げる場面に、まさに立ち会っております。



会社の概要

■ 会社の概要 (平成22年11月30日現在)

商号 アルテック株式会社
 設立年月日 昭和51年5月15日
 資本金 5,527,829千円
 従業員数 147名 (グループ全体602名)
 所在地 東京都新宿区荒木町13番地4
 住友不動産四谷ビル

■ 役員 (平成23年2月25日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
 取締役専務執行役員 瀧 川 賢 一
 取締役執行役員 木 根 潤 明
 社外取締役 中 尾 光 成
 社外取締役 富 永 宏 宏
 常勤監査役 菅 原 正 則
 社外監査役 今 中 幸 男
 社外監査役 越 智 俊 典
 社外監査役 平 岡 繁

執行役員 陶 山 秀 彦
 執行役員 阪 口 則 之
 執行役員 池 谷 壽 繁

■ 事業別グループ会社 (平成22年11月30日現在)

事業区分等	会社名
卸売事業	
産業機械・機器分野	アルテック株式会社
	アルテック・エンジニアリング株式会社
	愛而泰可貿易 (上海) 有限公司
	ALTECH ASIA PACIFIC CO.,LTD. エスコグラフィックス株式会社
産業資材分野	アルテック株式会社
メディアパッケージ分野	アルテック株式会社
その他の分野	アルテック株式会社
	アルテックアイティ株式会社
製造事業	
食品・飲料容器分野	愛而泰可新材料 (蘇州) 有限公司
	愛而泰可新材料 (広州) 有限公司
	PT. ALTECH
	愛而泰可新材料 (深圳) 有限公司
その他の分野	アルパレット株式会社

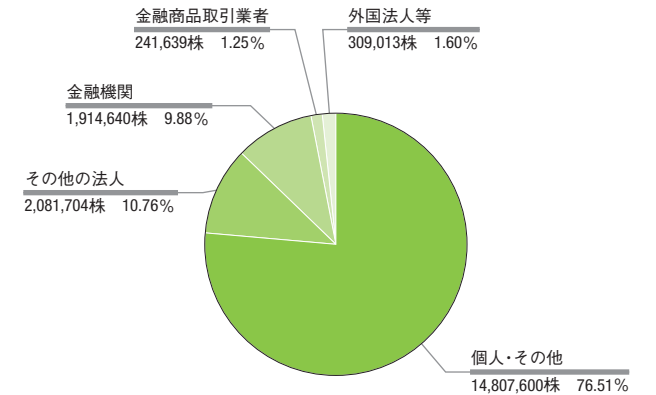
株式の状況

■ 株式の状況 (平成22年11月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株	
発行済株式の総数	19,354,596株	
株主数	5,394名	
大株主		
株主名	持株数	持株比率
	株	%
フェニックス・キャピタル・パートナーズ・スリー投資事業組合	8,797,700	46.08
竹内エムアンドティ株式会社	900,000	4.71
株式会社三菱東京UFJ銀行	505,920	2.64
由利和久	500,276	2.62
株式会社アルミネ	391,000	2.04
村永八千代	387,076	2.02
東京センチュリーリース株式会社	151,904	0.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	146,400	0.76
日本証券金融株式会社	141,900	0.74
三井住友海上火災保険株式会社	136,700	0.71

(注) 1. 当社は、自己株式262,499株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 持株比率は、自己株式262,499株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



WEBサイトのご案内

<http://www.altech.co.jp/>

アルテック株式会社の最新の情報を掲載しています。

株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月
期末配当金受領株主確定日	11月30日
中間配当金受領株主確定日	5月31日（中間配当を実施する場合）
株主名簿管理人 （特別口座の口座管理機関）	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 （郵便物送付先）	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電 話 0120-232-711（通話料無料）
公告の方法	電子公告により当社のホームページ （ http://www.altech.co.jp/ ）に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公 告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

アルテック株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13番地4 住友不動産四谷ビル
tel ☎ 03-5363-0925 ホームページ ☎ <http://www.altech.co.jp/>



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と植物油インキを使用しています。

